介護施設等での就労経験や介護資格を有している方の職場復帰事例

2026.11
vol.1

Re-challenge



社会福祉法人　京都福祉サービス協会
朱雀訪問介護ステーション
サービス提供責任者　三原　千佳

介護で叶える、わたしの未来！

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向けて、介護等を要する後期高齢者が増加する一方で、生産年齢人口は急速に減少していきます。

こうした背景の中で、介護現場においては、介護テクノロジーの導入や国による処遇改善加算の創設、各種制度改正など、職場環境の改善（業務の効率化・負担軽減）に向けた取組が進められています。

本冊子では、介護現場への復帰を希望しながらも不安を抱えている方（潜在介護職員）に向けて、実際に介護現場へ復帰された方の事例を紹介しています。

本冊子が、潜在介護職員の皆様にとって、介護現場への復帰の一助となれば幸いです。

介護現場への復帰

育児と仕事の両立

「介護の仕事を志すきっかけ」から「介護職を離れた理由」

介護の仕事に就く前は、ハンバーガー店で勤務していました。その中で、老若男女、大勢の人とのふれあいに心が弾むことに気が付きました。

人との関わりが好きな自分には、介護の仕事がピッタリと考え、ヘルパー養成研修（現：介護職員初任者研修）を受講しました。同研修で世代を超えた仲間と出会い、有意義な時間を過ごす中で、介護職員として働くことを決意しました。

実際に働く中で、介護の仕事は自分に向いていると感じていましたが、育児等に専念するため、介護の仕事を離れざるを得なくなりました。



介護職への復帰

介護の仕事を辞めて３年半が経ち、育児も一段落する中、仕事を再開しようと考えました。短時間からでもできる仕事を探したときに、偶然、見つけたのが元職場のヘルパーの求人でした。

介護の仕事に復帰した後も、仕事と育児の両立に悩むこともありましたが、**同僚の助けもあり、ライフスタイルに合わせて、柔軟にシフトを調整しながら、仕事を続けることができました。**



介護職に復帰して感じたこと

利用者宅に伺うヘルパーの仕事は難しい仕事だとよく言われます。確かに利用者お一人おひとりに向き合う個別ケアは、臨機応変な対応を求められることもあります。

しかし、利用者の方は人生の大先輩。私は、ヘルパーの仕事を通じて、利用者の方から多くのことを教わりました。まずはやってみようと一歩踏み出してはいかがでしょうか。きっと世界が広がりますよ。

介護現場への復帰を考えている方へ

介護の仕事は、比較的、休みを取得しやすい環境にあります。
特に近年では、**タブレット端末を用いた介護記録の入力など、これまでの書類作成にかかっていた時間も大幅に削減されるとともに、次のシフトの方への引継ぎもスムーズにできるようになりました。**
介護現場は、ワークライフバランスを重視する方にとっても、働きやすい職場環境づくりが進んでいるところと考えています。
この業界に戻ってみて、改めてそのように感じました。



所長からのコメント

三原さんはパート勤務から再スタート。ワークライフバランスを図りながら、現在は介護職員のリーダーであるサービス提供責任者業務を担っています。
今後も経験を積んで、いずれは法人の軸になってほしいと考えています。



日々の業務負担を軽減し、利用者へのケアにより集中できる環境をつくるため、多くの施設・事業所が、介護ソフト及びタブレット端末を用いた「ＩＣＴシステム」を導入しています。

ＩＣＴ導入の効果	割合
文書作成の時間が短くなった	81.9%
入力済みの情報を他の文書でも利用できるようになった	84.8%
情報共有がしやすくなった	90.3%
事業所内の情報共有が円滑になった（話し合い時間の増など）	88.0%

※　厚生労働省「ＩＣＴ導入支援事業　令和３年度　導入効果報告取りまとめ」参照

潜在介護職員職場復帰支援事業の取組について

潜在介護職員職場復帰支援事業については、現在の介護保険制度・介護技術・介護現場の職場環境改善状況等の周知・啓発等を通じて、潜在介護職員の介護現場への復帰に対する不安を解消し、支援するための事業として、令和８年度より開始しました。

今後、働きやすい職場環境づくりに取り組まれている市内の介護施設・事業所の事例や介護保険制度等の改正内容などのご紹介を通して、介護現場への復帰に対する不安を解消いただけるよう取組を進めてまいります。

【京都市情報館に掲載】
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000359982.html

介護職員の働きやすい職場環境づくり表彰

国では、令和5年度から、「介護職員の働きやすい職場環境づくり内閣総理大臣表彰」及び「介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰」を実施しています。

この表彰は、職員の待遇改善や人材育成、介護現場の生産性向上に関する取組が特に優れた介護事業者を表彰し、その功績を広く紹介することで、介護職員の働く環境の改善を推進することを目的としており、市内でも複数の施設が受賞されています。

京都市では、こうした先進的な取組を市内の他の施設へ横展開することで、市全体における働きやすい職場環境づくりを推進しています。

【京都市情報館に掲載】
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000357183.html

［動画］拝啓、もう一度輝きたい私へ　～介護が私に与えてくれたもの～

（あらすじ）

過去に腰痛が原因で介護施設を退職した「桂川葵」が、元同僚「加茂渡」の勧めで、施設長「田中さん」から現在の介護現場について教えてもらいながら、介護職員としての復帰を志していくストーリー



【動画は京都市情報館に掲載】
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000358069.html

京都市 CITY OF KYOTO
京都市老協

発 行：令和8年11月／保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室　介護ケア推進課
京都市印刷物 第０８１８４５号
委託先：一般社団法人京都市老人福祉施設協議会